



令和元年度『腹の底から笑いあった家族エピソード』大笑

【優秀賞】

どんどんやって

旭小学校四年

芝内 結人 しばうち ゆいと

ある日のことです。ぼくは、晩ご飯の後、リビングで宿題をしていました。ぼくの横でお父さんが算数の問題をとくのを見ていてくれました。その日、ぼくは調子がよくスムーズに計算をといっていました。その様子を見ていたお父さんが、

「いいよー。どんどんやって。」

と、ぼくに言いました。

すると、近くで遊んでいた二才の弟がとつぜん大きな音で足をふみならしはじめました。ぼくもお父さんもお母さんもおばあちゃんもびっくりして不思議に思いました。何秒かしてからお母さんが、

「あっ、どんどんやって言った

から、足ふみしてどんどんさせたんじゃない。」

と言いました。みんななっとくして、大笑いしました。

弟に、

「どんどんやって。」

と言ったら、またどんどんうれしそうに足ふみをしてくれました。それを見て、またみんなで大笑いしました。

そんなかわいいかんちがいをする弟が、ぼくは大好きです。

令和元年度『少しのがまん』 川柳大賞

【市長賞】

洗面所

毎朝恒例

争奪戦



府中学園八年

大本 唯愛 おおもと ゆいな

(自作の解説)

毎朝、顔を洗ったり、髪を整えたり、着替えたりするのに、私も父も母も弟もみんな使います。

一人ずつしか入れないせまい所なので、誰かが使っているときはじっと耐えています。朝、家を出るまでに使えますように。

(家族の一言)

同じタイミングで混み合うね。

戦う前に少しがまんがまん。

国府小学校

第8回

みんなで進めル

(略してCS)

コミュニティ・スクール

みんなでつながる国府演JOY祭!

国府小学校コミュニティ・スクールの最も大きなイベントが、国府演JOY祭です。第3回を迎えた今年度の国府演JOY祭は、去る11月16日(土)に1,600人も人が集まり、開催されました。これまで学校で行っていた「音楽発表会」、

この祭りの最大の特徴は、児童が参画して創り上げることで、6年生の児童を中心に、企画・提案・運営が行われます。一体感溢れる国府演JOY祭を、これからもみんなで盛り上げていきます。

